



三春中学校だより

第 63 号

発行日 令和 2 年 3 月 6 日

発行所 三春町立三春中学校

電話 0247-62-2181 F A X 0247-62-6978

E-mail miharu-j@fcs.ed.jp

【教育目標】『三春に暮らす生徒一人ひとりに、将来に対して喜びと生きがいのある人生を主体的に創造する力を育み、地域に信頼され、ひいては、国際社会に貢献できる人材を育てる』

【今度は外側から！ ～さらに109名の同窓生も三春中学校を見守り、支えます。～】

3月2日（月）の5校時目に、橋本俊宏三春中学校同窓会連合会長をお迎えし、令和元年度の三春中学校同窓会連合会入会式が行われました。

CGに勢ぞろいした3年生は、橋本同窓会連合会長様よりご挨拶をいただいた後、その入会が認められ、晴れて、三春中学校の同窓生となりました。

その後には、今後、連絡や同窓活動の中心となるべく、4名の代表生徒が任命され、結びに、学年代表の女子生徒より誓いの言葉が述べられました。卒業間近の3年生にふさわしい、しっかりした構成であり、主張や意見が論理的にわかりやすく述べられた見事な誓いの言葉でした。すばらしい作文と発表でした。

3年生のみなさんはこれまで、三春中学校の最高学年として三春中学校を守ってきてくれました。そして、今度は、外側から三春中学校を守り励ましてくれる存在として卒業していこうとしています。卒業生として、そして、卒業後は同窓生となる3年生に、今後ますます幸多からんことを心より願います。



【華やかな作品が掲示されていました！ ～4日（水）から臨時休業となります。～】

新型コロナウイルスの感性防止のための臨時休業が始まる4日（水）に校舎をめぐっていると、3階の壁にきれいな色どりの作品が掲示されていました。

美術部の作品でしょうか。魚、花とりボン、ドレスをまとったお姫様でしょうか。とてもきれいな作品でしたので、思わず写真に収めました。心を込めて丹念に作成した作品が、今は子どもたちのいない校舎に飾られています。ずっと取っておきます。臨時休業が終わって、子どもたちが校舎に戻ってきた時のために。



【健康管理とバランスのよい食事、そして、感染防止！ ～きれいに整えています。～】

学校から子どもたちの笑い声が消えても、いつでも子どもたちが帰ってきて生活できるようにと、学校はその歩みを止めません。

学年団は学年ステーションや教室、学年スペースの整理整頓を、外部作業員さんは学校内外の環境整備を、3年生は進路事務を間違いの決してないよう点検し、他学年も今年度のまとめの通知表作成やプリント等の準備に余念がありません。

先日は注文していたコルクのロールがようやく到着し、音楽室前の掲示板の虫食い部分のみならず、

すべての掲示板面のコルクを外部作業員の佐久間さんが張り替えてくれました。

2つの門柱が立つ校門も、三春中名物の大階段も、お知らせを掲示したり子どもたちの作品を掲示したりする掲示板もきれいに整っています。



【新制度下の県立高校入試が無事終了！ ～学年の指導を理解し、全力を傾けました。～】

3月4日（水）・5日（木）・6日（金）は県立高校の入試の日でした。新しい制度になって初めての県立高校入試。決して間違いがあってはいけないと、事前に学年団は自分たち自身も新入試制度について学び、生徒や保護者のみなさんに説明し、さまざまな資料をお配りしました。入試当日も朝6時前に出勤して不測の事態に備えたり、磐越東線の乗車駅まで確認のために出向いたり、受験当日の不測の事態も起こらないようにと万全を尽くしました。

おかげさまをもちまして、4日（水）・5日（木）・6日（金）とも、「無事受験校に全員入りました。」「無事全員の生徒より終了の連絡がありました。」と学年主任の伊東先生より報告をいただき、安心して退勤しました。

生徒のみなさん、受験お疲れさまでした。3年生の先生方もこれまでありがとうございました。合格発表は3月16日（月）となっています。必ずしやよい結果がもたらされることと信じております。

【社会に認められる正しい判断と選択を！ ～臨時休業前の全校集会をもちました。～】

3月3日（火）の6校時目に、臨時休業前の全校集会を短い時間でしたが実施しました。

校長からは、臨時休業は新型コロナウイルスの感染防止のために行うことをまず伝えました。未知の新型コロナウイルスへ冷静に対応し、かつ、正しく恐れようというお話も付け加えました。ご家族がお仕事等に出かけた際には、自分（たち）だけになる場面も出てくること、そんな中でこそ、三春中学校で学んだことを生かして、『社会に認められる形』での『正しい判断』と『正しい選択』をしようと思いを続けました。そして、そのよい例として、最近の学校だよりも取り上げた、野球部の“一人でもあいさつ”、女子ソフトテニス部の大会会場での“自分たちから雪かき”、卒業式式歌伴奏の“一人早朝練習”の話題紹介しました。いずれも、『やる』・『やらない』の選択肢の中から、『やる』という判断をし、『やる』という選択で行動したとてもすばらしい例であります。

人がいてもいなくてもそのような『正しい判断と選択』ができた三春中学校の生徒を誇りに思いますし、三春中学校のすべての生徒さんがそのような『正しい判断と選択』ができるよう、常に、『忠恕』『探究』『必達』の3つのめざす生徒像を『正しい判断と選択』のよりどころとして生活すれば、学校生活と同様に、充実した家庭生活を送ることができることと信じていますと続けました。その後は、生徒指導主事の齋藤先生にお任せし、臨時の町校長会に出かけました。

今度の臨時休業は、これまで子どもたちが家庭で、そして、三春中学校で学んだことの発揮の場、子どもたちの真骨頂が発揮される時です。臨時休業の日も校庭の校旗は見守っています！

